

平成 28 年日本熱物性学会第 1 回 (2016-1) 役員会議事録  
平成 27 年第 4 回(2015-4)役員会との合同会議

日時：平成 28 年 1 月 23 日(土) 役員会 14：00～16：03

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者：(五十音順・敬称略)

浅岡龍徳(信州大学)	遠藤亮(東レリサーチセンター)
大久保英敏(玉川大学)	小澤俊平(千葉工業大学)
小田究(名古屋市工業研究所)	小原拓(東北大学)
小畑良洋(鳥取大学)	仮屋圭史(佐賀大学)
桑原正史(産総研)	小宮敦樹(東北大学)
迫田直也(九州大学)	佐藤真奈美(大阪工業大学)
佐藤讓(東北大学)	柴田浩幸(東北大学)
新里寛英(九州大学)	杉岡健一(富山県立大学)
鈴木賢紀(大阪大学)	高田保之(九州大学)
竹田修(東北大学)	長坂雄次(慶應義塾大学)
春木直人(岡山大学)	日野裕久(パナソニック)
福山博之(東北大学)	麓耕二(弘前大学)
堀部明彦(岡山大)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学)
山田修史(産総研)	山田純(芝浦工業大学)

**審議事項：**

佐藤前会長より挨拶があり、引き続いて高田新会長より挨拶があった。配布資料の確認が行われた。

**議 題：**

**(1)新旧役員紹介と前回議事録確認……………資料番号:16-1-1(1)~(3)**

資料 16-1-1(1)および(2)に基づき新旧役員の自己紹介があった。続いて、小宮評議員より、資料 16-1-1(3)に基づき、前回議事録の確認があり、一部修正の後、了承された。

**(2)学生プレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号:16-1-2**

桃木企画担当理事より、資料 16-1-2 に基づき、第 36 回シンポジウムにおける第 13 回学生ベストプレゼンテーション賞についての選考結果の報告があった。例年通りの審査手順を踏み、その結果 29 名から 3 名が選ばれた旨が報告された。学会誌掲載予定の報告原稿について、受賞者 3 名の講演題目も追記掲載することとなった。

**(3)第 36 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号:16-1-3**

柴田第 36 回シンポジウム担当理事より、シンポジウムの報告がなされた。96 件の発表、237 名の参加

(招待者含)があった旨が報告された。一部会場が聴講者で埋まってしまう問題が生じ、どのセッションがこの状況になったのかを、第37回シンポジウム担当理事に報告することとなった。シンポジウムの収支決算報告も併せて報告があり、講演論文集の販売数は127冊で重要な収入源となっている報告があった。

**(4)覚書の確認……………資料番号:16-1-4**

小原事務局担当副会長より、学会運営に関する覚書の紹介があった。第36回シンポジウムの情報が追加された旨が報告された。併せて論文集価格の情報追加もあった。

**(5)第36期(平成27年)活動・決算報告……………資料番号:16-1-5(1)~(2)**

小原事務局担当副会長より、資料16-1-5(1)に基づき、学会の第36期(平成27年)の活動報告に関する報告があり、一部修正の後、了承された。続いて資料16-1-5(2)に基づき、収支決算の説明がなされた。第36回シンポジウムから大きな収入があった旨、寄付金があった旨、著作権使用料の予定以上の収入があった旨、および通信費が減った旨の報告があり、これを了承した。

**(6)第37期(平成28年)事業計画……………資料番号:16-1-6**

小原事務局担当副会長より、資料16-1-6に基づき、学会の第37期(平成28年)の事業計画案が報告された。役員会日程および活動計画などについての報告があり、一部修正の後、了承された。研究分科会については、第37期は4研究会が活動していくこととなった。会員名簿については、今まで通りに冊子媒体で発行することとなった。

**(7)第37期(平成28年)予算……………資料番号:16-1-7**

小原事務局担当副会長より、資料16-1-7に基づき、第37期(平成28年)の収支予算に関する報告があった。ATPC2016の開催に伴い、特別会計勘定からの繰り入れ欄を設けた旨の説明があった。これについて、ATPC2016実行委員長である長坂国際連絡事務担当より追加の説明があり、了承された。論文公開費について、山田東京連絡事務担当より説明があり、金額を修正することとなった。また、昨年10月に開催された第36期総会時の資料(第4号議案)に誤植があることが報告され、この旨を学会誌に掲載することとなった。

**(8)第37回・第38回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:16-1-8(1)~(2)**

堀部シンポジウム担当理事より、資料16-1-8(1)に基づいて、第37回シンポジウムの準備状況についての報告があった。会場費用がかかることが予想されるため、シンポジウムホームページは実行委員会内で行う旨の報告があった。学会誌2月号に掲載予定の第1回会告が提示され、説明がなされた。会告を一部修正することで学会誌に掲載することとなった。配布媒体については、昨年の仙台シンポジウムと同様にCD-ROMと冊子媒体を現在検討中である旨の報告があった。

続いて、山田熱物性情報担当理事より、資料16-1-8(2)に基づき、第38回シンポジウムの準備状況が報告された。体制の説明がなされ、主として産総研のメンバーで構成していく旨の報告があった。会場は現時点で3候補挙がっており、予算等を考慮しつつ決定していくこととなった。また日程については1

年前を目途に決定していく旨の報告があった。

#### (9)各種委員会報告……………資料番号:16-1-9-1~5

##### 編集委員会

堀部第36期編集担当理事より、資料16-1-9-1に基づいて、平成27年度活動報告および会計報告があった。また、2月号会誌の内容に関する報告があった。ATPC2016の会告についても2月号に掲載することとなった。

続いて、大久保第37期編集担当理事より平成28年度活動計画についての報告があり、これまでの活動を踏襲していくこととなった。

##### 熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当理事より、資料16-1-9-2に基づいて平成27年度活動報告と平成28年度活動計画があった。平成27年度は月平均約6800件のアクセスがあり、論文ダウンロード数は約810報との報告があった。

##### 活動委員会

桃木企画担当理事より、資料16-1-9-3に基づいて平成27年度活動報告と平成28年度活動計画があった。ベストプレゼンテーション賞関連業務の報告がなされた。広報委員会と協力してセミナーを開催していく旨の報告があった。

##### 広報委員会

宮崎広報担当理事より、資料16-1-9-4に基づいて、平成27年度活動報告と平成28年度活動計画があった。活動計画の一部誤植を修正した。ナノ・マイクロスケール熱物性ハンドブックの刊行に際してセミナーを開催していく件については、聴講者を学生に絞って計画を立て、4月の理事会・役員会でその詳細を報告することとなった。

##### 表彰委員会

佐藤第36期表彰委員会委員長より、資料16-1-9-5に基づいて、表彰委員会の活動について報告があった。続いて、長坂第37期表彰委員会委員長より、学会誌2月号掲載予定の「2016年日本熱物性学会賞の候補の募集」記事案が出された。

#### (10)研究分科会について……………資料番号:16-1-10-1~5

##### 高温融体物性と材料プロセス

福山監事より平成27年度の活動報告および会計報告があった。引き続き平成28年度の活動計画についての説明があった。

##### 先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

小原事務局担当副会長より、代理での報告があった。平成27年度の活動報告、会計報告および平成28年度の活動計画についての説明があった。

##### ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎広報担当理事より平成27年度の活動報告および会計報告があった。引き続き平成28年度の活動計画についての説明があった。

複雑な系における水の特異な熱・輸送特性

山田東京連絡事務担当より、代理での報告があった。平成 27 年度の活動報告、会計報告および平成 28 年度の活動計画についての説明があった。

断熱材の熱物性計測と評価

小宮評議員より、代理での報告があった。平成 27 年度の活動報告、会計報告および平成 28 年度の活動計画についての説明があった。

**(11)事務局報告……………資料番号:16-1-11-1~2**

小原副会長より、資料 16-1-11-1 に基づいて共催、協賛行事の報告があり、続いて、資料 16-1-11-2 に基づいて会員異動の報告があった。

**(12)その他**

特になし。

以上